

ミャンマーに安全な水を供給します！

(独)国際協力機構（以下 JICA）と、北九州市上下水道局は、草の根技術協力事業¹⁾『マンダレー市における安全で安定した水供給能力向上支援プロジェクト』を 2019 年 12 月 26 日より開始しました。

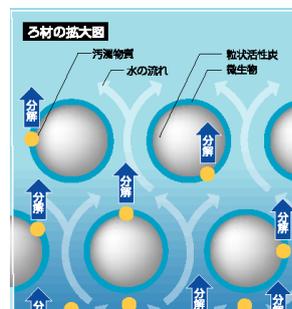
マンダレー市では、急速な都市化に伴う水需要の拡大が大きな課題となっていたことから、安定して原水を確保できる第 4 浄水場を「緩速ろ過」方式から「急速ろ過」方式へ改修して浄水能力を大幅に引き上げました。しかし、同市において初めての「急速ろ過」方式の浄水場であることから、現地職員は十分な運転・管理能力を有しないまま、浄水場の運転を行っています。

北九州市上下水道局は、マンダレー市開発委員会職員へ急速ろ過方式浄水場の運転・維持管理の技術指導を行い、安全で、安定した水が供給できるようになることを事業の目標にしています。また、日本のインフラ輸出に貢献するべく「水道事業の継続性を脅かす水源水質汚染の対策の検討」として、北九州市上下水道局が技術開発を行った上向流式生物接触ろ過装置 (U-BCF) の導入可能性を探ります。

【上向流式生物接触ろ過装置 (U-BCF : Upward Bio Contact Filter)】

U-BCF は、10 年以上の時間をかけ北九州市上下水道局が独自に研究・開発したもので 18 年以上の運転実績があります。

U-BCF とは、自然の河川で微生物が汚れを取り込み分解する作用を人工的に高効率で行わせる設備です。汚れを分解するのは原水中の微生物であり、その微生物を粒状活性炭のろ材へ住み着かせて原水中の汚染物質を除去させています。



概要

- 事業名：草の根技術協力事業
『マンダレー市における安全で安定した水供給能力向上支援プロジェクト』
- 対象地：ミャンマー国マンダレー市
- 事業実施団体：北九州市上下水道局
- 相手国実施機関：マンダレー市開発委員会
- 事業期間：2019年12月26日～2022年12月23日



■ 問い合わせ先

JICA 九州 市民参加協力課 東
TEL:093-671-8210
E-mail:Higashi.Marika@jica.go.jp

¹⁾ 草の根技術協力事業とは、国際協力の意志のある日本の NGO/CSO、地方自治体、大学、民間企業等の団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験に基づいて提案する国際協力活動を、JICA が提案団体に業務委託して JICA と団体の協力関係のもとに実施する共同事業です。参考 URL: <https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/index.html>